

## 夏休み特別工作プログラム

(担当：市民協働推進部地域コミュニティ課是政文化センター)

### 取組の背景・目的

学校の長期休暇中の子どもの居場所作りとして夏休み特別工作プログラムを行っている。  
安全な居場所として、また普段あまり児童館に来ない子どもが来ることも多く、その後、児童館を利用するきっかけの一つにもなっている。

また、子どもたちに工作の楽しさや自分で作る喜び、創意工作を通して考える力を身に付けることも目的としている。

### 取組の概要

小中学校の夏休み期間中、「夏休み特別工作プログラム」と称して、普段の児童館では作れない特別な工作を行っている。週5日(月～金)、午後2時～5時まで、是政文化センター1階のゆうぎ室で開催している。費用は無料である。

#### 【工作の内容】

- ・木工遊びや砂絵、子どもの興味を引く科学工作(光の反射を使った不思議や小箱や変形する不思議な折り紙など)、砂絵も行った。また、藍をつかってのしぼり染めやペットボトルの風鈴なども行った。連日参加する子どももいるため、沢山種類を用意した。
- ・工作の材料については、牛乳パックやペットボトルなど日常生活で使用するものを多く使うようにしている。

#### 【事業の実施方法】

##### 1 職員体制

府中市の直営であり、児童館指導員3名、府中市職員1名で実施している。

##### 2 受付方法

子どもの居場所作りという観点から、事前申し込み制ではなく、その日に急に時間ができて児童館を訪れた子どもでも参加できるように当日受付としている。

なお、材料は豊富に用意しているが、なくなった時点で終了となる。

##### 3 感染症対策

入口で参加者の検温を行い、手を洗うか消毒するなどきれいにしてから工作を始め、会場の換気を充分に行うよう努めている。

また、使った道具などは、消毒してから次の子どもが使うようにしている。

## 工夫点・留意点

### 【工夫点】

夏休みの特別工作ということで、木工遊びやとんかちを使っての釘打ちなど、普段家では行わないことも体験させるようにした。

### 【留意点】

使い慣れない道具も経験させるため、使い方をよく教え、安全に行えるよう配慮した。

## 取組の効果

連日来て工作を楽しんでいる子どもも多く、長期期間中に子どもが自分の意志で来ることができ、安全な居場所の一つとなっている。

普段、児童館に来ない子供たちも来館し、楽しそうに工作を行っていた。

## 課題・今後の展開

### 【課題】

予約なしの自由参加とし、子どもたちの夏休み期間の居場所となるよう努めているが、参加者の人数があらかじめ予測できないため、人気のある工作は時間前から順番待ちの列ができることなどもある。感染症対策との両立には苦労も多いが、児童館指導員だけでなく職員も必要に応じてサポートに入り、安全な運営に努めている。

今後とも、指導員と職員で知恵を出し合い、この取り組みを続けていきたい。